

【施策評価調査】

| | | | | |
|------|-----------------------|-----------------|----------------|--|
| 施策名 | 1-1-1 | 宝積寺駅西第一土地区画整理事業 | 70 | 政策1-1. 計画的な市街地整備を実現するためには、 ①快適に暮らせるまちづくりの実現に向け、区画整理事業を計画どおりに実施すること。 ②宝積寺駅周辺地区を整備し、利便性の向上を図ること。 ③景観条例を制定し、良好な景観を形成すること。 ですが、そのうちこの施策については、①の快適に暮らせるまちづくりのために、駅西地区の良好な住環境を形成する上で、道路・上下水道等と一体的・計画的な整備を行うこととします。 |
| 担当部課 | 建設産業部 都市整備課 | 担当 リーダー | 区画整理担当 岡田 勉 | |
| 環境変化 | 事業施行期間を延伸し平成24年3月とした。 | | | 施策内容 快適に暮らせるまちづくりの実現に向けて、平成23年度完了を目指して、宝積寺駅西第一土地区画整理事業を行います。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋) |

■指標

| 施策の評価指標 | 基準値 | 年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 |
|---------------------------|---|----|----------|----------|----------|----------|--------|
| 指標①:区画道路築造(4,710m)の進捗率(%) | 平成16年度進捗率 | 計画 | 45.2% | 55.0% | 65.0% | 75.0% | 90.0% |
| | 36.1% | 実績 | → 45.20% | ↓ 48.15% | ↓ 50.80% | ↓ 55.40% | |
| 指標②:家屋移転戸数(110棟)の推進率 | 平成17年度進捗率 | 計画 | 68.2% | 76.4% | 85.5% | 94.5% | 100.0% |
| | 60.9% | 実績 | → 68.20% | ↓ 72.72% | ↓ 80.00% | ↓ 84.55% | |
| 指標③: | | 計画 | | | | | |
| | | 実績 | | | | | |
| ◆◇ 指標に関する特記事項 ◆◇ | 区画道路築造の進捗率=全体で4,710m。平成21年度末において2,608m(55.40%)を実施 家屋移転戸数の進捗率=全体で110棟。平成21年度末において93棟(84.55%)を実施 | | | | | | |

| 施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移 | 年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 |
|-----------------------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|------|
| | 当初 | 97,466,000 | 416,849,000 | 413,490,000 | 707,818,456 | |
| | 決算 | 224,137,003 | 430,625,965 | 283,085,548 | 412,497,839 | |

■事務事業事後評価 21年度の検証

| 施策傘下事務事業 | 事業費 | 活動量(アウトプット) | 施策への貢献度 | 施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム) | | | |
|---------------|----------------|----------------|---------|---|----|--------------|----|
| ①区画整理事業 | 当初 320,920,000 | 移転計画件数 | A | 全体計画からは、遅れが見られるが、平成21年度において補助事業が完了した。平成21年度は、前年度繰越3件当該年度2件の5地権者と契約を行った。 | | | |
| | 決算 134,030,383 | 84.55% / 94.5% | | 今後の方向性(自己評価) | 継続 | 今後の方向性(総合評価) | 継続 |
| ②区画整理事業 *繰越明許 | 当初 111,478,456 | 移転計画件数 | A | 全体計画からは、遅れが見られるが、平成21年度において補助事業が完了した。平成21年度は、前年度繰越3件当該年度2件の5地権者と契約を行った。 | | | |
| | 決算 111,478,456 | 84.55% / 94.5% | | 今後の方向性(自己評価) | 継続 | 今後の方向性(総合評価) | 継続 |
| ③区画整理事業繰出金 | 当初 275,420,000 | 移転計画件数 | A | 全体計画からは、遅れが見られるが、平成21年度において補助事業が完了した。平成21年度は、前年度繰越3件当該年度2件の5地権者と契約を行った。 | | | |
| | 決算 166,989,000 | 84.55% / 94.5% | | 今後の方向性(自己評価) | 継続 | 今後の方向性(総合評価) | 継続 |
| ④ | 当初 | | | 今後の方向性(自己評価) | | | |
| | 決算 | / | | 今後の方向性(総合評価) | | | |
| ⑤ | 当初 | | | 今後の方向性(自己評価) | | | |
| | 決算 | / | | 今後の方向性(総合評価) | | | |

■施策事後評価 21年度の検証

| 自己評価 | 施策達成状況に関する評価 | 課題と今後の方向性 |
|------|---|---|
| 自己評価 | 当該年度の補償については、未契約繰越として3物件あったが予定した全ての地権者と契約が完了した。また、当該年度分の補償として2物件の契約を行い合計5物件の契約をすることが出来た。全体計画上は遅れているが、当該年度の目標とすれば概ね達成したと言える。 | 当該年度をもって在庫補助事業が完了したので、今後は保留地処分金及び町単独費が中心になり事業を行うことになる。事業計画上は、平成23年度事業完了予定であるが、現在も同意を得られない地権者もあり、事業進捗に支障を来している状況である。平成22年度は事業完了に向けた事業計画の見直しや資金計画の見直しを行い、一日も早い事業完了を目指したい。 |
| 総合評価 | 合意形成に向け継続的に施策展開されていると評価するが、進捗状況を見ながら、期間延伸後の方針や事業計画を明確にするとともに、他の事業との整合性を図りながら、十分な説明と調整を行い、早期に事業が完了することを望む。また、延伸に伴う保留地処分金など資金計画を示すこと。 | |